

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	日本芸術院会館施設整備		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・平成26年度		担当課室	文化部芸術文化課		芸術文化課長 舟橋 徹		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文部科学省設置法第32条 日本芸術院令		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本芸術院美術品収蔵庫は、竣工後43年が経過し、所蔵作品の増加による狭隘化が極めて著しく、作品の搬入搬出時に直接外気に触れたり、雨天時に濡れる等の環境下にある。また、昨年の地震やその後の余震によって、地上高7.3mの屋根部分で南側に14.4cm(東側)、13.5cm(西側)の傾きが生じていることが判明し、収蔵作品の破損等も危惧されるため、既設収蔵庫の増改築を行い適切な環境で美術品を管理できる体制を整えるものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本芸術院所蔵の美術品を適切に管理・保管するため、収蔵庫の増改築を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	226	
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	日本芸術院収蔵庫を改築し、所蔵する美術作品を適正な維持管理を行う。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	日本芸術院収蔵庫を改築する。		活動実績	-	-	-	-	-
			(当初見込み)		(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	226,259,000(円/工事一式)		算出根拠	X: 総工事費151,346千円+職員旅費212千円+改築する収蔵庫の設計費44,980千円+工事中の監理費8,805千円+埋蔵文化財包蔵地調査料14,483千円+作品を一時保管する賃借料5,536千円+一時保管庫へ収蔵作品を輸送するための通信・運搬費847千円+改築する収蔵庫図面の印刷製本費50千円 Y: 工事一式				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	-	0.2 百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				
	施設施工庁費	-	75 百万円					
	施設整備費	-	151 百万円					
計	-	226 百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	貴重な国民的財産である日本芸術院所蔵美術品の適切な保存環境の整備・充実の観点から、日本芸術院が実施すべき優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	工事業者等の選定は、一般競争入札を行うことで競争性を担保し、更にコストの削減にも努める。 施設の設備等についても、会員や有識者等に、工事範囲や効率的・経済的な工法等について検討を重ね、美術品を保存・管理するうえで必要なものに限定するよう努めている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	整備は、約320点まで増加した所蔵数に合わせて、既存施設に最小限の改修を行う計画であり、適切な保存環境に加え、効率性やコスト等を考慮したものである。 改築後の収蔵庫に日本芸術院所蔵美術品を適切に管理・保管を行いする予定である。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本業務は、貴重な国民的財産である日本芸術院所蔵美術品の適切な保存環境の整備・充実を目的とし、狭隘化し著しく保管環境が悪化した既存の施設を改築・整備するものであり、国として行うべき事業である。 整備規模は、増加した所蔵数に合わせて、既存施設に最小限の改修を行う計画であり、効率性やコスト等を考慮したものとなっており妥当である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、定性的な内容ではあるが成果目標が立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

施設施工旅費 0.2百万円
施設施工庁費 75百万円を含む

日本芸術院
226百万円

【一般競争入札・請負】

A
民間企業等
151百万円

（日本芸術院収蔵庫の
改築工事の実施）

【一般競争入札・請負】

B
民間企業等
45百万円

（日本芸術院収蔵庫
の設計業務）

【一般競争入札・請負】

C
民間企業等
9百万円

（日本芸術院収蔵庫
改築工事の監理）

【一般競争入札・請負】

D
民間企業等
6百万円

（日本芸術院所蔵美
術作品の一時賃借）

【随意契約・請負】

E
台東区文化財調査会1
4百万円

（埋蔵文化財発掘調査）

資金の流れ
（資金の受け取り
先が何を行っているかについて
補足する）（単
位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.民間企業等			E.台東区文化財調査会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	日本芸術院収蔵庫の改築工事の実施	151	役務	埋蔵文化財発掘調査	14
計		151	計		14
B.民間企業等					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	日本芸術院収蔵庫の設計業務	45			
計		45	計		0
C.民間企業等					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	日本芸術院収蔵庫改築工事の監理業務	9			
計		9	計		0
D.民間企業等					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	日本芸術院所蔵美術作品の一時賃借	6			
計		6	計		0